



82歳からの挑戦 マスターズ優勝！二見安重さん

横内集落の二見安重さんは、6月17日（日）に鴨池陸上競技場で開催された第28回鹿児島県マスターズ陸上競技選手権大会に出場され、M80（80～84歳）クラスにおいて、100m走（18.90秒）優勝、80m走（11.63秒）準優勝という見事な成績を収められました。

二見さんは、家族の勧めを受けて昨年、10月に開催された大会に初出場し、2度目の挑戦で優勝を果たしました。

二見さんは、「20年近く毎朝ウォーキングで体力づくりに取り組んできました。誰にも負けない気持ちを持ち続けて、これからもチャレンジし続けたい。大会では、孫の声援が後押ししてくれた。」と話されました。



▲マスターズ M80 クラスにおいて、100 m走優勝、80 m走準優勝を果たした二見安重さん



鹿児島県代表で意見発表！ 高橋亜由美さん

7月4日（水）から5日（木）にかけて、熊本市で九州・沖縄地区青年農業者会議が開催され、大崎町農業青年倶楽部の高橋亜由美さんが意見発表を行いました。

家族で黒豚の養豚業を営む高橋さんは、今年1月に開催された青年農業者会議・輝けトークに初出場し、見事最優秀賞を受賞され、今回、鹿児島県代表として出場しました。

内容は、家族経営でおろそかになりがちなミーティングが最も重要であるというものでした。

高橋さんは、「大変緊張しましたが、たくさんの方々の前で意見発表でき、貴重な体験になりました。」と話されました。



▲鹿児島県代表としてスピーチを行う大崎町農業青年倶楽部の高橋亜由美さん



国際交流を体験！ 大丸小学校

6月2日（土）、大丸小学校3年児童は、大崎ものづくり会館においてもものづくり教室とインターネットを使った国際交流を体験しました。

児童22名と保護者18名の計40名は、はじめにサマーフォトフレームの製作を行いました。

マリングラスや、ひまわりの造花等使い、それぞれ様々な作品を完成させました。

その後、インドネシア・デポック市の第5小学校の3、4年生とインターネットをつないで国際交流を楽しみました。慣れない英語で会話をする中、両国の児童らは、日本語と英語で『ドレミの歌』を一緒に合唱しました。盛り上がった一同は、他国にできた友達へそれぞれ、手紙を書きました。



▲インドネシアの子どもたちとインターネット回線を利用したテレビ電話で話す大丸小児童